

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人清雅会 シンパタ歯科	階数	地下0階地上4階
建設地	愛知県岡崎市羽根西二丁目6番地2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院、老人ホーム、身体障害者福祉ホームなど	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年12月22日
敷地面積	895㎡	作成者	大野真太郎
建築面積	753㎡	確認日	2025年12月22日
延床面積	2,118㎡	確認者	大野真太郎



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・㎡)

②建築物の取組み: 83% (152 kg-CO₂/年・㎡)

③上記+②以外の: 83% (152 kg-CO₂/年・㎡)

④上記+: 83% (152 kg-CO₂/年・㎡)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p>30.8 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動に応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)医療法人清雅会 シバタ歯科

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	重み係数		
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		3.0	3.0	0.15	2.2	2.2	1.00		2.8	
1.2 遮音		3.0	3.0	0.40	2.2	3.0	0.40		2.9	
1 開口部遮音性能		3.0	3.0	0.40		3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	3.0	0.60		3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	3.0	-		1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	3.0	-		1.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	3.0	0.20		1.0	0.20			
2 温熱環境										
2.1 室温制御		3.0	2.6	0.35	2.6	2.6	1.00		2.6	
1 室温		3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38		3.0	0.57			
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.25		3.0	0.43			
2.2 湿度制御		1.0	1.0	0.20		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30		3.0	0.30			
3 光・視環境										
3.1 昼光利用		2.6	2.6	0.25	2.6	2.6	1.00		2.6	
1 昼光率		1.8	1.8	0.30	1.8	1.8	0.30			
2 方位別開口		1.0	1.0	0.60		1.0	0.60			
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	3.0	1.00		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		3.0	0.25			
4 空気質環境										
4.1 発生源対策		3.6	3.6	0.25	3.3	3.3	1.00		3.5	
1 化学汚染物質		4.0	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63			
室内仕上げ材はすべてF☆☆☆☆とした。		4.0	4.0	1.00		4.0	1.00			
4.2 換気		2.0	2.0	0.30	2.3	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	3.0	-		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	1.0	0.50		1.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	5.0	0.20			-			
1 CO ₂ の監視		5.0	5.0	1.00			-			
2 喫煙の制御		5.0	5.0	1.00			-			
建物全体を禁煙とした。		5.0	5.0	1.00			-			
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		3.1	3.1	0.40	4.4	4.4	1.00		3.1	
1 広さ・収納性		3.0	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60			
個室で10㎡/床を確保した。						5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-			-			
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00			-			
1.2 心理性・快適性		3.0	3.0	0.30	3.5	3.5	0.40			
1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	3.0	0.30		4.0	0.50			
病室天井高さ2600mm						4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	1.00		3.0	0.50			
3 内装計画		3.5	3.5	0.30			-			
1.3 維持管理		4.0	4.0	0.50			-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50			-			
内装仕上げ材に維持管理の容易な素材を選定した。							-			
2 維持管理用機能の確保							-			
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		2.8	2.8	0.31			-		2.8	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.48			-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80			-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	2.7	0.33			-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	3.0	0.23			-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	2.0	2.0	0.23			-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	3.0	0.09			-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	3.0	0.08			-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	3.0	0.15			-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	3.0	0.23			-			
2.4 信頼性		2.8	2.8	0.19			-			
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20			-			
2 給排水・衛生設備		2.0	2.0	0.20			-			
3 電気設備	②	3.0	3.0	0.20			-			
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20			-			
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20			-			

3 対応性・更新性				3.1	0.29	2.9	2.9	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり				3.4	0.31	2.8	2.8	0.50	
1 階高のゆとり			ゆとりある階高設定とした。	5.0	0.60		4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				1.0	0.40		1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30			-	2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30			-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー				-	0.40			-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.67	5.0	0.30			-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20			-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.79	3.2	0.30			-	3.2
4 効率的運用				2.0	0.20			-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				1.0	0.50			-	
集合住宅の評価								-	
4.1 モニタリング								-	
4.2 運用管理体制								-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			-	2.8
1 水資源保護				2.2	0.15			-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63			-	3.0
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		1.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	可動間仕切りなど再利用できるユニット部材を使用した。	5.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境				-	0.30			-	2.9
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率83%	3.6	0.33			-	3.6
2 地域環境への配慮				2.2	0.33			-	2.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自		1.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	0.50			-	
2 振動		独自		3.0	0.50			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				3.0	-			-	
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

(仮称)医療法人清雅会 シバタ歯科

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:30.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)医療法人清雅会 シバタ歯科

計画上の配慮事項	
総合	周辺環境および省エネに配慮した計画としました。
Q1 室内環境	室内仕上げ材はすべてF☆☆☆☆としました。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管材や内装材を利用して、長寿命化に配慮しました。
Q3 室外環境(敷地内)	ピロティを設けるなどの建築的な工夫を取り入れることで雨宿り、待ち合わせに供する等、都市空間上のアメニティ向上に貢献しています。
LR1 エネルギー	LED照明により、設備システムの高効率化に配慮しました。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や節水型便器などにより、節水に配慮しました。
LR3 敷地外環境	室内や室外にゴミの多種分別回収が可能なストックスペースを計画しました。
その他	